



Fukagawa Rotary Club

R I 第 2510 地区第 1 グループ 深川ロータリークラブ



例会プログラム

クラブ運営について 12月3日 (火)

担当：例会運営委員会

NO. 3039 第 16 回例会



R I 情報委員会 圓浄委員長卓話

会長報告

飛弾野会長

雪景色となりました今日この頃ですが、先日深川ではとくに雪が多く、積雪 28cm でした。

雪かきが大変な時期ですが、これも地域の宿命ではないかと思えます。寒暖差が激しくコロナ、インフルエンザも増えています。皆様も体に気をつけて頂きたいと思えます。

第 1 回米山功労者表彰 伊東会長エレクト



例会案内 例会案内「11月～12月」

- 12月 3日(火) ⚙️ クラブ運営について
- 12月10日(火) 🎄 クリスマス家族会
- 12月17日(火) 🕒 年忘れ例会
- 12月26日(火) 📄 準法定休会

出席報告 11月26日例会

総会員数 31名 (出席免除者1名中0名出席)
 欠席者数 8名 津田, 北村, 成田(雅), 宮澤山脇, 村中, 宮岸, 石川各会員

出席率 74.20%
 前回メーキャップ 1名 遠藤会員
 前回修正出席率 73.33%

前例会幹事報告

平瀬幹事

- 深川ライオンズクラブクリスマス家族会案内状
- 米山記念奨学会 感謝状 明細書送付
- ザ・ロータリアン英語版送付
- 滝川 RC、留萌 RC 例会案内の送付

スマイルBOX 累計 164,000 円

圓浄貴之 P 会長 本日宜しくお願ひいたします。



R I 情報委員会 圓浄委員長卓話



ロータリーの行動計画
 私たちは行動を起こす人として、このビジョンの実現には計画が必要であることを知っています。職業において大きな課題に向き合うとき、「最初に準備せずに行動する」人などいません。私たちは「計画の必要性」を提言し、等しく重要なこととして、計画に基づいて行動するために人びとの力を結集します。私はここで、ロータリーの未来のための計画についてお話しします。私たちが、ロータリーという今日の組織と、ロータリーに必要とされる、またそうあるべきと望む姿の間に大きな隔りがあることを認識しています。



目的意識と社会奉仕の機会・自分にとって重要な目的・定評と強力な遺産・地元に変化をもたらすプログラム
 これらは、まさにロータリーに当てはまることです。

行動計画は、楽観的視野と、ロータリーが地域社会、世界、そして人類にとって必要とされるものであるという信念をもって取り組むべきものです。より強固で充実したロータリーを築くには、よりインクルーシブに、開放性をもって新会員や新しいアイデアと向き合っていくことが大切です。また、パートナーシップの構築、デジタルツールの活用、そして人の力を結集するためのリソースの構築に力を入れる必要があります。

この計画には、四つの優先事項があります：各優先事項は、現・元会員、リーダー、ローターアクター、学友、青少年交換学生、ロータリー職員からの意見、フィードバック、希望を反映しています。これらは、100万人以上のロータリー関係者から集めた意見を基にしています。優先事項は次の四つです。



■より大きなインパクトをもたらす

クラブのレベルでできることも沢山あります。いろいろ多くのことをやって中途半端な成果を引き出すよりは、焦点を絞って物事に取り組むことが奨励されるようになるでしょう。地域社会にもたらすインパクトについて情報を集め、活動の前後で評価を行うための支援をクラブに提供していくことで、クラブはそのインパクトについて力強いストーリーを伝えることができるようになります。

■参加者の基盤を広げる

クラブを活性化し、新たな人々とロータリーの価値観を共有するための別の方法があります。それは、ほかの組織や団体とのパートナーシップを結ぶことです。クラブでは既に、学校や大学、青年会議所、市役所、社会福祉機関、その他の奉仕団体と協力関係を築いていると思います。それは素晴らしいことです。しかし、地域社会のより幅広い人たちに参加してもらい、また協力していくために、すべてのクラブでより積極的にパートナーシップを築いていけるよう奨励していく必要があります。地域社会をもう一度見渡し、職業、文化、関心を土台とするつながりを築いていくための、あらゆる方法を見つけてみましょう。そして、ロータリーへの参加を呼びかけていきましょう。従来の協力関係の枠組みを超えてパートナーシップを築いていくことで、開放的で積極的に活動する団体、また、多彩な才能やアイデアを生かして変化をもたらしている団体として、ロータリーを認識してもらえるようになるでしょう。

■参加者の積極的なかわりを促す

「世界を変える行動人」は、人びとのニーズを理解しようと努めます。しかし、私たちが奉仕する人や地域社会だけでなく、奉仕に参加する人も、自分の存在が認められ、声が聞き入れられ、自分の存在が大切にされていると感じる必要があります。参加者たちは、個人的、職業的に重要で、やりがいのある体験を求めています。これらを必ずしも提供できているわけではありません。この優先事項は、個人的・職業的にそのような進化と成長を促す機会を私たちが提供していけるようにすることを目的としています。

■適応力を高める

私たちに独創性があり、起業家精神にあふれ、困難にもくじけません。私たちが行動を起こす人たちは。これらの要素があれば、ロータリーの組織原則に対する新しいアプローチによってロータリーの真髄が脅かされることはありません。



深川 RC

会長 飛騨野貴広
 幹事 平瀬 文男

会長エレクト 伊東由紀夫 副会長 木村 喜芳
 副幹事 宮澤孝司 会計 廣上 晃士



例会運営委員会

委員長 森 隆江
 副委員長 富 永隆夫

深川 RC

■例会場 ラ・カンパーニュホテル深川 ■例会日 毎週火曜日
 ■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号 ■姉妹クラブ 南海RC (韓国)
 プラザ深川3 F TEL (0164) 34-6228 ■第2510地区第1グループ
 ■URL H <http://mypage.fukanavi.com/rotary/> ■Mail fukagawa-RC@club502.jp